

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード		050100	2998-9211				
事業コード	「文芸所沢」発行事業			文化芸術振興課					
050117				グループ 文化支援					
開始年度		平成 58 年度	終了年度		平成 年度				
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市子ども・子育て支援事業計画				文化芸術振興基本法			
	関連・類似事業	所沢こどもルネサンスこども文学のひろば(社会教育課)							
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 市民文化	基本方針	個性あふれる文化の創造				
事業開始の背景	所沢図書館が発行していた「読書感想文集」を発展させ、昭和58年度に、市民の創作文芸作品を発表する場として「文芸所沢」を創刊した。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	市民の文芸作品の掲載により創作活動を促し、作品を通して作者と読者の交流を図るとともに、市内の文芸専門家が選考委員としての参加することにより地域文化への貢献を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	299,567	人			
	所沢市内に在住または在勤、在学の15歳以上			平成 27 年度	300,267	人			
事業の具体的な内容及び実施方法	5月中旬から7月末日まで、俳句、短歌、川柳、詩、小説、随筆、童話の7部門の作品を募集。 部門ごとの選考委員が採用作品を決定。 3月に発行し、投稿者に配付。市内銀行や郵便局、公共施設等に市民の閲覧用の配備を依頼。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			1,075	1,078	1,070			
	決算(見込み含む)			966	973				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.08 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	0.25 人	2,180	0.47 人	4,070				
	事業費合計			3,146	5,043				
財源内訳	一般財源	3,146	5,043	1,070					
国・県支出金	0	0	0						
その他( )	0	0	0						
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	投稿者数	投稿者数	人	249	259	250	270	
		掲載者数	掲載者数	人	245	252	240	260	
		発行部数	発行部数	部	1,300	1,200	1,200	1,200	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	配布率	配布部数 / 発行部数	%	目標値	100	100	90	95
					実績	73	88	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	73	88	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	作品募集のご案内を教育機関に送付する際、国語担当教諭あてに送付したところ、俳句部門に高校生からの投稿があり、今後も若い世代の投稿が期待される。			そもそも目標値の設定として100%配布は難しい。しかし、昨年度と比較し、実績値が増加しているのは、投稿者数が増加したこと、発行部数を見直したためである。今後もより多くの方に投稿してもらえるよう、広報活動等工夫していく必要がある。					
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	応募者や希望者、市内の銀行や郵便局、公共施設に配布し好評を得ており、地域に根付いた文芸誌である。また、表紙や挿絵には市美術展受賞者の作品を掲載し、文芸と美術という異なったジャンルの共同制作の場になるなど、地域文化の振興につながっているため、今後も趣向を凝らしながら継続して実施していく。				
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	選考委員への謝礼、作成委託費、投稿者への通知はがき代として事業を実施するために必要な予算であり、今後も現状維持していく。				
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性					
	5月中旬から7月末日まで、俳句、短歌、川柳、詩、小説、随筆、童話の7部門の作品を募集し、今年度も多くの方からの投稿があった。今後発行に向けて、選考や編集作業等を行っていく。			投稿者の高齢化が問題である。若い人にもっと投稿してもらえるよう、広報活動を工夫する必要がある。毎年300名弱の応募があり、発行を楽しみにしている投稿者や読者が多く、今後も継続していく必要がある。					
評価日	H28.8.16	評価者職氏名	文化芸術振興課長 吉田 謙治						
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料作成	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無	